

環境データ集

2013



CONTENTS

対象期間	01
報告対象範囲	01
環境データ集とは	01
環境データ集に関するお問い合わせ先	01

環境省「環境報告ガイドライン (2012年版)」との対照表	02
----------------------------------	----

2012年度 環境活動の実績と次年度の目標	03
-----------------------	----



環境に配慮した生産プロセス・オフィス活動

地球温暖化の防止、 地球温暖化防止 各種法対応について	04
--------------------------------	----

廃棄物の削減・再資源化 省資源活動	05
----------------------	----

PRTR法への対応	06
-----------	----

事業所での活動事例	07
-----------	----

オフィス・物流での活動事例	09
---------------	----



管理活動

環境法令の遵守、環境監査の実施 環境スローガン、生物多様性保全活動	10
--------------------------------------	----



情報開示

情報開示、お客様への対応	11
--------------	----

生産及び研究開発拠点の環境負荷データ	12
--------------------	----

対象期間

2012年度

2012年4月 1日



2013年3月31日

※継続性の強い活動につきましては、一部2013年度の活動も掲載しています。

報告対象範囲

日本シイエムケイ(株)およびその関係会社

国内CMKグループ

日本シイエムケイ株式会社

【主要2工場】

- Gステーション工場
- KIBANセンター工場

【研究・開発拠点】

- 技術センター工場

【非生産拠点】

- 本社
- SEセンター
- 営業所(9ヶ所)

国内関係会社

【生産拠点】

- シイエムケイメカニクス(株)
- 日本シイエムケイマルチ(株)
- シイエムケイ・プロダクツ(株)
- (株)山梨三光
- シイエムケイ蒲原電子(株)

海外CMKグループ

【生産拠点】

- CMK CORPORATION(THAILAND)CO.,LTD.
- 旗利得電子(東莞)有限公司
- 希門凱電子(無錫)有限公司
- CMKS(MALAYSIA)SDN.BHD.

【非生産拠点】

- CMK ASIA(PTE.)LTD.
- 新昇電子(香港)有限公司
- CMK EUROPE N.V.
- CMK AMERICA CORPORATION

環境データ集とは

2013CSR報告書に紙面の都合で掲載できなかった環境情報(事例・数値情報)を集めたもの。

環境データ集に関するお問い合わせ先

日本シイエムケイ株式会社 環境推進室 〒372-0824 群馬県伊勢崎市柴町今井236
TEL: 0270-32-9855 FAX: 0270-32-2613 E-mail: kankyou@cmk.co.jp

環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」との対照表

環境報告の記載事項

2013CSR報告書
対応ページ

2013環境データ集
対応ページ

1. 環境報告の基本的事項

1	報告に当たっての基本的要件		
(1)	対象組織の範囲・対象期間	1	1
(2)	対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	1	1
(3)	報告方針	8,30	—
(4)	公表媒体の方針等	1,裏表紙	1
2	経営責任者の緒言	2	—
3	環境報告の概要		
(1)	環境配慮経営等の概要	3,16	—
(2)	KPIの時系列一覧	17	4,5,9,11
(3)	個別の環境課題に関する対応総括	—	3
4	マテリアルバランス	13	—

2. 「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標

1	環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等		
(1)	環境配慮の方針	11,14,16	—
(2)	重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	13	—
2	組織体制及びガバナンスの状況		
(1)	環境配慮経営の組織体制等	13	—
(2)	環境リスクマネジメント体制	7,12,14	—
(3)	環境に関する規制等の遵守状況	14	10
3	ステークホルダーへの対応の状況		
(1)	ステークホルダーへの対応	15,16	11
(2)	環境に関する社会貢献活動等	18,28	—
4	バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況		
(1)	バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	—	—
(2)	グリーン購入・調達	16	9
(3)	環境負荷低減に資する製品・サービス等	16	3
(4)	環境関連の新技术・研究開発	—	—
(5)	環境に配慮した輸送	—	—
(6)	環境に配慮した資源・不動産開発／投資等	—	—
(7)	環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	17	5

3. 「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標

1	資源・エネルギーの投入状況		
(1)	総エネルギー投入量及びその低減対策	—	4
(2)	総物質投入量及びその低減対策	13	—
(3)	水資源投入量及びその低減対策	13	5
2	資源等の循環的利用の状況	—	—
3	生産物・環境負荷の産出・排出等の状況		
(1)	総製品生産量又は総商品販売量等	—	—
(2)	温室効果ガスの排出量及びその低減対策	13,17	4,7,8
(3)	総排水量及びその低減対策	13	6
(4)	大気汚染、生産環境に係る負荷量及びその低減対策	13	6,12
(5)	化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	13,17	6
(6)	廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	13,17	5
(7)	有害物質等の漏出量及びその防止対策	14	—
4	生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	18	10

4. 「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標

1	環境配慮経営の経済的側面に関する状況		
(1)	事業者における経済的側面の状況	13	—
(2)	社会における経済的側面の状況	—	—
2	環境配慮経営の社会的側面に関する状況	7,9,26	—

5. その他の記載事項等

1	後発事象等	—	—
2	環境情報の第三者審査等	—	—

2012年度 環境活動の実績と次年度の目標

当社では、「環境理念」及び「環境基本方針」に基づき、環境活動の目標として、毎年「CMKグループ環境行動計画」を制定しています。この行動計画を基にグループ全体で環境活動に取り組んでいます。

2012年度の主な活動結果と2013年度の目標

【評価記号の説明 ◎：目標を達成 ○：目標をほぼ達成 △：目標を一部未達 ×：目標を未達】

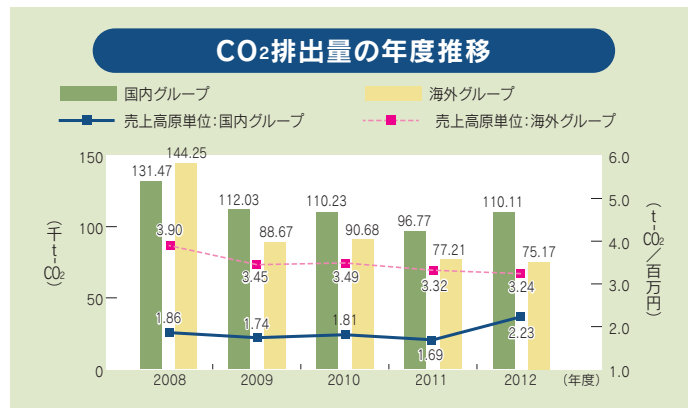
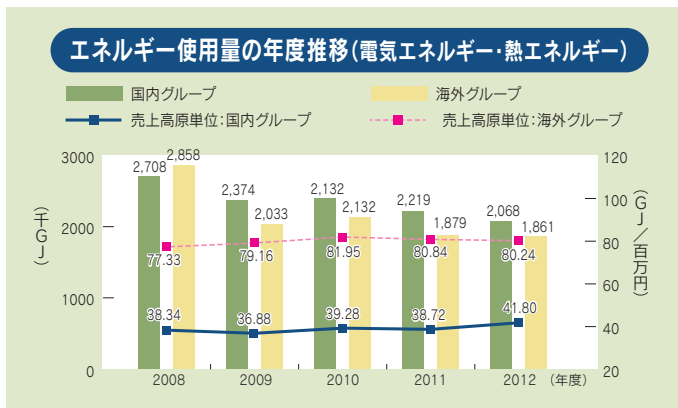
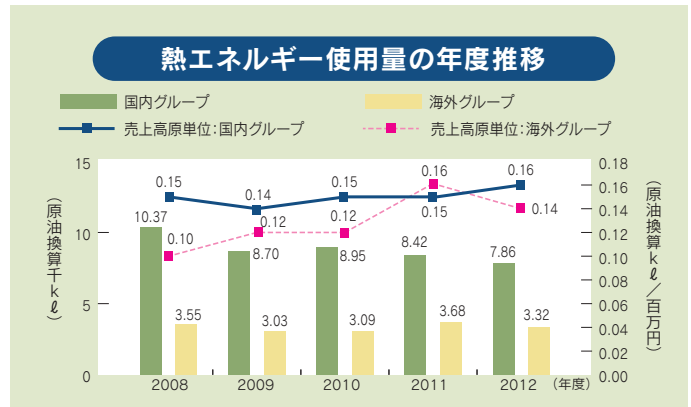
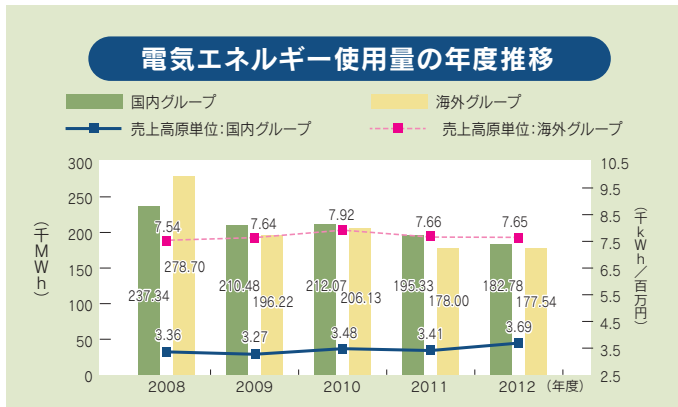
活動区分	活動テーマ	2012年度活動実績	評価	2013年度目標	
1	管理活動	環境管理システムの構築	・ISO14001の更新審査及び定期審査による維持管理	◎	・ISO14001の認証継続とパフォーマンスの向上 ・環境ガバナンス調査の実施
		環境会計の実施	・国内グループとして2012年度データの集計を実施	○	・国内グループで環境会計を実施 精度向上に向けたガイドラインの見直しと改定
		環境法令の遵守	・国内グループに改正情報を毎月水平展開 ・中国クリーン生産標準の遵守状況を調査 ・違法チェックリストで法律の遵守状況を確認	◎	・環境法令違反チェックの継続実施 ・海外法規制の監視、情報入手及び水平展開
		環境監査の実施	・グループ内のEHS管理監査を3事業所で実施 ・内部監査を継続実施 ・計画していた省エネ管理の試行監査は未実施	○	・CMKグループEHS管理監査計画に基づき監査を実施 ・ISO14001取得サイトにおける内部監査の継続実施 ・国内生産事業所で省エネルギー管理監査を実施
		環境教育の実施	・インターンシップ生、新入社員の研修にて環境教育を実施 ・EHS管理監査、省エネ管理監査の監査員養成講座を開催 ・ISO26000に基づく社会的責任の説明会を開催	◎	・新入社員教育、インターンシップ環境講習、 一般環境講習会、EHS管理監査員養成講座の開催
		環境リスクマネジメント	・環境リスクマネジメントプログラム実施 ・環境リスクに関する監査の構築は来期に延期	○	・環境リスクマネジメントシステム監査の仕組みを構築
		生物多様性保全	・群馬地区：伊勢崎市内の赤松保全活動に参画 ・新潟地区：緑の募金活動、里山の復元活動に参加 ・埼玉地区：敷地内に生えている外来生物の駆除	○	・地域の生物多様性保全活動への参画など、社会貢献活動に 取り組む
2	製品の環境対策	環境負荷禁止物質の 不使用	・不使用保証書の発行→351件 ・環境負荷物質調査→1,315件 ・EHS管理監査の実施(仕入先、委託加工先等) ・購入部材等の自主分析(12年度 650検体)	○	・お客様への環境品質保証 ・お客様からのEHS含有・使用調査への対応 ・仕入先等のグリーン調達調査及びEHS管理監査実施 ・ICP分析データの更新 ・蛍光X線分析装置によるスクリーニングの運用継続
		環境配慮型製品 “E-spec” の提案	・生産量：241,620㎡(昨年度：238,284㎡) ・展示会等の当社ブースにて、パネル展示による E-spec製品の紹介	○	・購入品におけるE-spec(ハロゲンフリー材料)認定制度 の運用継続 ・展示会(JPCAショー、インターネッコン等)でE-spec 製品の紹介
		REACH規則対応	・SVHC追加物質の含有調査→含有無し	◎	・SVHC追加物質把握、原材料・製品への含有調査・管理
3	環境に配慮した生産プロセス、 オフィスの活動	化学物質の管理	・PRTR法対象物質の使用量、排出量、移動量を把握 及び届出 ・MSDS最新版管理を継続実施 ・CMKグループPRTRデータ算定手順書改定	◎	・使用量、排出量、移動量の把握、VOC物質の管理 ・化学物質管理の推進及びMSDSの整備、管理継続
		省エネ、地球温暖化の防止	・エネルギー原単位の改善結果(kℓ/㎡) 国内グループ：前年度比10.1%悪化 海外グループ：前年度比26.4%悪化 ・省エネ法への対応 ・エネルギー原単位算出支援ツールを作成し、 各工場に対して月次の実績報告を依頼 ・会社車両の燃料使用量の把握・管理	△	・エネルギー原単位 1%以上改善 ・関連業界の取り組みに準拠した目標及び管理手法の導入 ・省エネ法や温対法に基づく会社車両の台数・燃料管理 ・国内排出量取引の動向調査(法規制動向)
		廃棄物削減	・ゼロエミッション率 国内：100%(前年度比0.2ポイント向上) 海外：91.9%(前年度比0.9ポイント低下) ・資源使用量の把握 水→国内：6,838㎥(前年度比4.1%削減) 海外：5,477㎥(前年度比19.8%増加) 紙→国内：7,317枚(前年度比1.7%増加) 海外：3,528千枚(前年度比10.8%増加)	△	・ゼロエミッション活動維持・向上 ・資源(水、コピー用紙)の使用量を把握
		グリーン購入の推進	・グリーン購入率 75.4%(前年度78.8%)	△	・国内事業所を対象にエコラベル品の購入を推進
4	コミュニケーション 環境	環境活動情報の開示	・ISO26000に準拠したCSR報告書を発行 ・環境データ集を発行 ・アンケート回収：114件	◎	・ISO26000(社会的責任)に準拠したCSR報告書の発行 ・お客様、お取引先様及び地域住民へのCSR報告書の配布
		国民運動への参画	・環境家計簿の実施(延べ191名の参加)	○	・環境家計簿参加者の増加を目指す
		地域活動への参画	・地域主催の清掃活動・イベントへ参加	◎	・地域主催の環境イベントへの出席・参加



地球温暖化の防止

国内生産事業所におけるCO₂の排出は、エネルギー消費によるCO₂の排出がほとんどを占め、省エネルギー活動がCO₂削減の重要な活動となっています。

地球温暖化の原因であるCO₂の削減に向け、生産事業所、オフィスを問わずあらゆる事業活動において省エネルギー活動を推進しています。2012年度のCO₂排出量は国内グループでは110,113t-CO₂（前年度比13.8%増加）、海外CMKグループでは75,165t-CO₂（前年度比2.7%削減）となりました。



電気エネルギーのCO₂排出換算係数

CO₂排出換算係数は環境省発表値を使用しています。
海外のデータについては、デフォルト値 (0.555t-CO₂ / 千kWh) を使用していますが、タイ工場のみ工業団地発電の係数 (0.197t-CO₂ / 千kWh) に変更し再計算しています。

都市ガス (13A) の発熱量

使用量当たりの発熱量は42GJ/千m³を使用しています。

地球温暖化防止 各種法対応について

当社では、CO₂削減ワーキンググループによる専門会議を定期的に開催し、CO₂削減や法改正内容、その対応方法を検討しています。

省エネ法については、当社および国内グループでの報告組織やエネルギー統括管理者、エネルギー企画推進者など決定し、法的届出の対応をしています。

また、東京都をはじめとする地球温暖化防止に関連する各都道府県の条例については、対象となる事業所や条例の要求内容を精査し対応を図っています。

都道府県温暖化推進(防止)条例指定状況

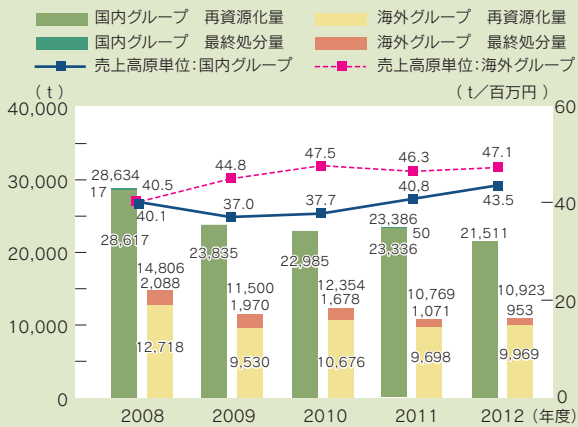
事業所	都・県	指定状況
本社	東京都	特定事業者
SEセンター	埼玉県	自動車地球温暖化計画作成事業者
シイエムケイ・プロダクツ(株)	神奈川県	特定大規模事業者
Gステーション工場、KIBANセンター工場	群馬県	特定排出事業者
(株)山梨三光	山梨県	特定事業者



廃棄物の削減・再資源化

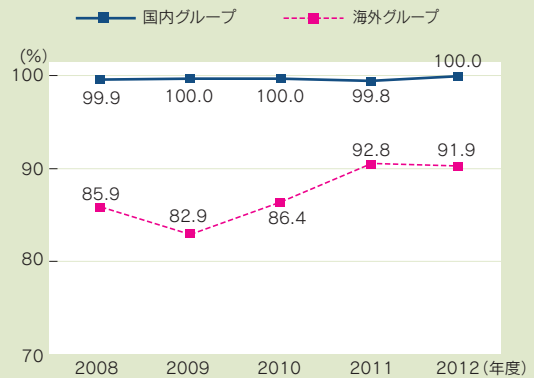
2012年度の国内グループの廃棄物・有価物の総発生量は21,511tで、ゼロエミッション率は100%(前年度比0.2ポイント向上)となり、2年ぶりにゼロエミッションを達成しました。海外グループの廃棄物・有価物の総発生量は10,923tで、ゼロエミッション率は91.9%(前年度比0.9ポイント低下)となりました。なお、海外グループにおいては工場の進出している国・地域性も影響していますが、ゼロエミッション達成に向けた活動を積極的に推進しており、旗利得電子(東莞)有限公司ではゼロエミッションを達成しています。

総発生量の年度推移



- 再資源化量:再資源化される廃棄物と有価物の量
- 最終処分量:埋立て処分される廃棄物の量
- 総発生量:最終処分量+再資源化量

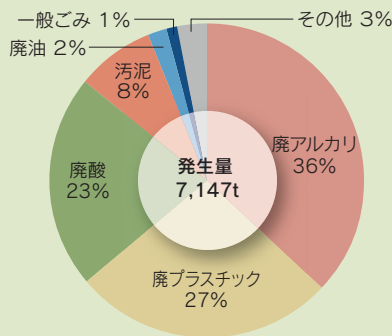
ゼロエミッション率の推移



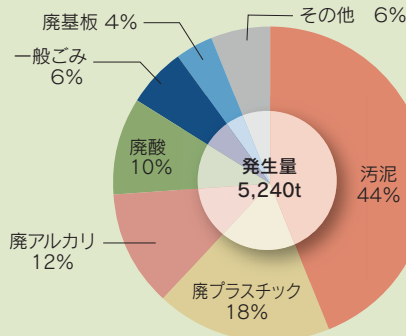
当社のゼロエミッションの定義

直接埋立て処分する廃棄物の量をゼロにすること。(業者委託による中間処理の残渣の埋立処分量は含まない)。ゼロエミッション率100%が定常的に維持できた時点で達成とする。

国内グループの廃棄物発生量の内訳



海外グループの廃棄物発生量の内訳



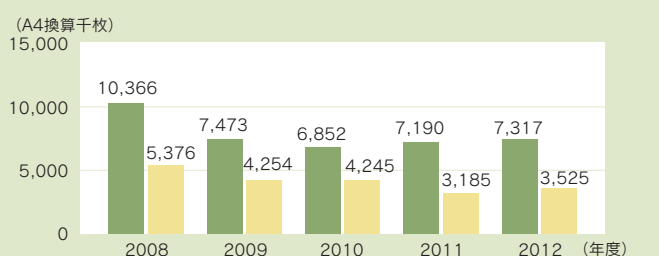
省資源活動

限りある資源を有効利用し、資源の無駄をなくす取り組みを推進することが、廃棄物削減にもつながると考え、CMKグループとして省資源活動に積極的に取り組んでいます。

水使用量の推移



紙の使用量の推移



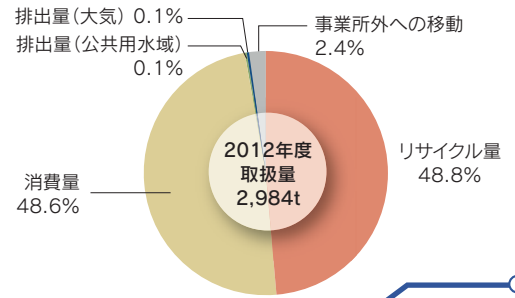


PRTR法への対応

当社では1998年からPRTR法による排出・移動量を把握し、データを開示しています。2012年度は、法改正後の対象物質について調査を行い、9物質の排出・移動量について報告しました。

*PRTR法 (Pollutant Release and Transfer Register の略) : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律

PRTR対象物質の排出・移動量



2012年度PRTR法 対象物質別データ

単位 : t

政令番号	物質名	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	消費量	主な用途
			大気	公共用水域	土壌	下水道	事業所外への移動			
20	2-アミノエタノール	1.76	0.00	1.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	銅めっき工程で使用
71	塩化第二鉄	1,618.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	868.21	750.63	エッチング・ニッケルめっき工程で使用
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	751.58	0.00	1.83	0.00	0.02	15.17	581.40	153.16	銅のエッチングにより生成
291	1,3,5-トリス (2,3-エポキシプロピル) -1,3,5-トリアジン-2,4,6 (1H,3H,5H) -トリオン	1.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	0.70	レジストインクの成分硬化剤
300	トルエン	2.27	1.53	0.00	0.00	0.00	0.74	0.00	0.00	印刷工程での版拭きクリーナーの成分
304	鉛	12.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	6.70	5.43	半田ブリコート
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性	550.22	0.00	0.00	0.00	0.00	51.20	0.00	499.02	めっき前処理工程で使用
411	ホルムアルデヒド	32.59	0.55	0.31	0.00	0.03	2.82	0.00	28.88	銅めっき液の成分
438	メチルナフタレン	12.97	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12.91	A重油の成分
合計		2,983.74	2.15	3.91	0.00	0.06	70.60	1,456.31	1,450.72	

2012年度PRTR法 工場別データ

単位 : t

政令番号	物質名	取扱量	排出量			移動量		リサイクル量	消費量	
			大気	公共用水域	土壌	下水道	事業所外への移動			
Gステーション工場										
20	2-アミノエタノール	1.76	0.00	1.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
71	塩化第二鉄	224.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	183.33	40.78
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	86.79	0.00	0.94	0.00	0.00	0.00	0.05	85.80	0.00
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	82.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	82.23
411	ホルムアルデヒド	9.99	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.19	0.00	9.75
438	メチルナフタレン	8.60	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.56
KIBANセンター工場										
71	塩化第二鉄	458.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	308.46	150.37
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	146.94	0.00	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	146.63	0.00
291	1, 3, 5-トリス (2, 3-エポキシプロピル) -1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H) -トリオン	1.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.70
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	19.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	19.27
438	メチルナフタレン	4.37	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.35
日本シイエムケイマルチ㈱										
71	塩化第二鉄	63.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	63.72	0.00
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	5.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.30	2.86
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	342.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	342.00
411	ホルムアルデヒド	11.70	0.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.23
シイエムケイ・プロダクツ㈱										
71	塩化第二鉄	560.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	312.70	247.80
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	34.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	1.61	16.05	16.90
300	トルエン	2.27	1.53	0.00	0.00	0.00	0.74	0.00	0.00	0.00
411	ホルムアルデヒド	3.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	2.44	0.00	0.64
シイエムケイ 浦原電子㈱										
71	塩化第二鉄	76.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	76.50
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	455.56	0.00	0.49	0.00	0.00	0.00	13.52	330.61	110.94
304	鉛	12.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	6.70	5.43	
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	90.80	0.00	0.00	0.00	0.00	51.20	0.00	39.60	
411	ホルムアルデヒド	6.03	0.08	0.05	0.00	0.00	0.19	0.00	5.70	
㈱山梨三光										
71	塩化第二鉄	235.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	235.18
272	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	22.55	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.46
395	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	15.93	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.93
411	ホルムアルデヒド	1.76	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56

*シイエムケイメカニクス㈱は届出対象外となっています。 ※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。



事業所での活動事例

省エネ活動事例

シイエムケイメカニクス(株)の省エネ事例

・空調機入れ替えによる省エネ

使用していた空調機は工場新設の際に設置された旧式であり25年間使用していました。電気の使用量も大きかったため、2012年度は8台を最新の省エネタイプに変更しました。

電気使用量とCO₂排出量の比較

8台を1日10時間、84日間使用したとして計算
(冷房6月～9月 暖房11月～2月)

単位：kW

	旧 型	新 型	省エネ効果
冷 房 時	68,342	64,780	3,562
暖 房 時	61,622	48,989	12,633
合 計			16,195

空調機切り替えによる省エネ効果⇒16,195kW/年
CO₂換算で約7.51tの削減。



新たに導入した空調機

日本シイエムケイ(株) 技術センター工場の省エネ事例

・インバーターコンプレッサーの導入による省エネ

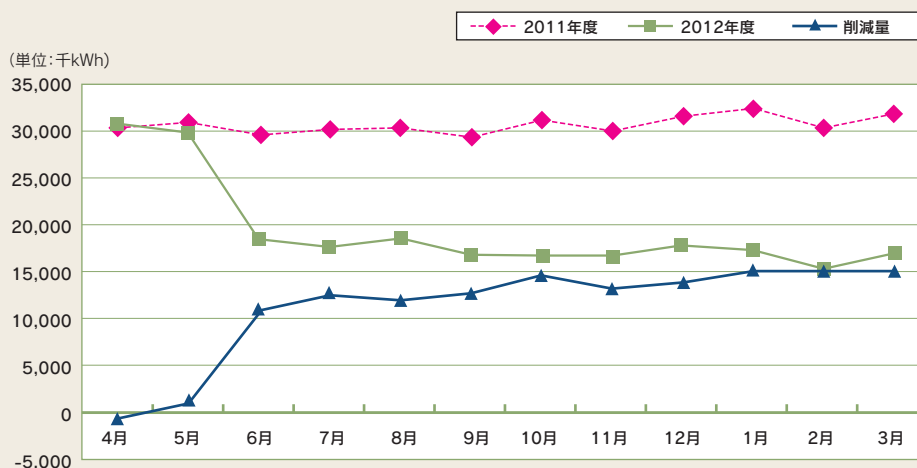
研究開発拠点である技術センター工場に設置されているコンプレッサーの負荷率を調査したところ、平均負荷率が24.5%で、汎用機の特徴である低負荷時での電力使用効率悪化が見られました。そこで電力使用効率悪化を改善するために新規にインバーターコンプレッサーを2012年6月に導入しました。

この取組により、年間の電力削減量は約136千kWhで、CO₂削減量は約63 t-CO₂の結果が得られました。



導入したコンプレッサー

ユーティリティ設備 電力使用量





事業所での活動事例

省エネ活動事例

(株)山梨三光の省エネ事例

・CR空調のインバーター制御導入による省エネ

(株)山梨三光のクリーンルーム内の空調は導入してから既に20年が経過し、老朽化のため2012年1月に更新を行いました。新規設備には、外気温で冷房の出力を3段階に制御し負荷を低減させるシステムを導入したことにより、旧エアコンよりエアコン出力は1.3倍に大きくなったものの、最大6割の運転が可能になりました。2011年の気温データから算出すると、使用電力は年間で15%の削減を見込んでいます。



空調制御盤

日本シイムケイマルチ(株)の省エネ事例

・熱源配管統合による、熱源システムの統合

日本シイムケイマルチ(株)のA1、A2棟の空調システムは、

A1棟用 → 吸収式冷温水発生機（都市ガス）2台（冷暖同時供給、1990年設置）

A2棟用 → 吸収式冷温水発生機（都市ガス）2台（冷暖切替供給、1992年設置）

の2系統のシステムで運転していますが、A1、2棟も各フロアの空きスペースが多い為、どちらの棟も冷暖房負荷が大幅に下がっており、適切な運用ができていませんでした。

その対策として、A1棟とA2棟の冷温水配管の配管システムを一部変更し、冷温水発生機をA1棟、A2棟共有のシステムとして省エネ対策工事を行いました。

今回実施した対策での省エネ効果は2012年5月から翌年3月までの実績で、電力が約540千kWh、ガスが約12.5千m³、合計で約320t-CO₂の削減となりました。また、既に耐用年数が過ぎている設備でもあるため、共有化することにより、故障時のリスクを低減する効果もありました。

廃棄物削減活動事例

日本シイムケイマルチ(株)の取り組み事例

日本シイムケイマルチ(株)では、省資源・リサイクル活動による産業廃棄物の排出抑制に努めています。

自社で特定の生物処理方法を確立したことにより、現在は工程内での出る全種類の廃棄物が自社処理可能となっています。その他フィルム剥離カス汚泥も自社処理施設を導入するなどして、外部への委託処理量を大幅に削減できました。また、社員食堂から排出される生ごみを自社内でコンポスト化し、それを家庭菜園などをしている社員に対して無料提供しています。

このような取り組みを長年継続したことが評価され、平成24年度新潟県環境会議リサイクル事業所として表彰を受けました。新潟県優良リサイクル事業所として地域のトップランナーであることをしっかりと意識し、今後も継続的に環境保全活動を推進していきます。



表彰式の様子



オフィス・物流での活動事例

社内物流の環境負荷低減

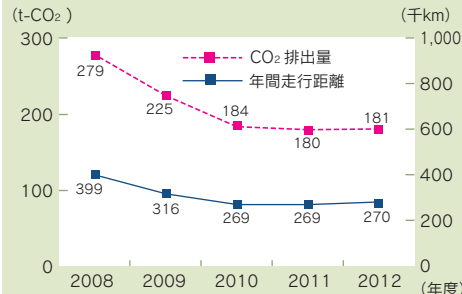
CMKグループの生産拠点は関越自動車道沿いの新潟県、群馬県、埼玉県に集中しており、この利便性を活かした定期便による社内物流を展開しています。

日々、社内便の運行管理の最適化により、CO₂排出量を低減に努めています。

関連法規制への対応

- ・2003年10月より施行された自動車NOx・PM法によるディーゼル車規制への対応は2003年度中に完了しています。
- ・2005年4月より施行の改正省エネルギー法による特定荷主には該当していません。

社内物流のCO₂排出量



営業車両の環境配慮

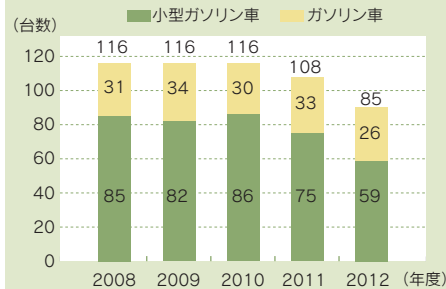
2003年10月に自動車NOx・PM法が施行されたことにより、対策地域では基準に適合しないディーゼル車の走行が規制されました。

これを受け当社では、営業車両に含まれるディーゼル車をガソリン車へ切替えを実施し、規制に対応しています(2006年度より全面切替)。

また、同時に低燃費・低排出ガスタイプの小型ガソリン車(1300cc以下)に切替えることにより、CO₂排出量の削減にも努めています。

その結果、2012年度末での当社の営業車両保有台数は、小型ガソリン車59台、ガソリン車26台となっています。

営業車両の推移



夏季の省エネの取り組み

CMKグループでは、空調によるエネルギー需要が増大する夏季に、国の指針に基づき製品品質に影響しない事務所では空調を28℃に設定するよう取り組んでいます。

各事業所で省エネ部会指導の省エネパトロールも継続して行われ、省エネ実施状況の確認をしています。

また、クール・ビズの期間を従来より延長して夏季の軽装化に努めています。

このような身近にできる環境保全活動を通じて、社員の意識高揚につなげています。



グリーン購入活動

当社では、環境に配慮した事務用品などの購入について「グリーン購入」と位置付け、環境に配慮された事務用品の購入を推進しています。

また、グリーン購入ネットワーク(GPN)からの情報やエコマークなどを参考に「グリーン購入ガイドライン」を策定し、これに基づき購入実績の把握を行っています。

2011年度からは、グリーン購入率の把握対象範囲を国内グループ全てに拡大し、グリーン購入に取り組んでいます。2012年度のグリーン購入率は75.4%でした。

グリーン購入の判断基準

- ① エコマークなどの公的な環境ラベル認定。
- ② カタログなどで環境配慮品として掲載されているもの。
- ③ ①、②以外で当社として例外的に認めるもの。
- ④ 印刷物については、グリーン購入ネットワーク(GPN)の「オフセット印刷サービス発注ガイドライン(GPN-G14)」に基づき発注したもの。

グリーン購入の対象品目

- 紙類
- 印刷物
- オフィス家具
- 自動車
- 文具
- パソコン・OA機器
- その他オフィス用品



ペットボトルから再生させた繊維を使用しているユニホームの採用

グリーン購入率の推移



グリーン購入率

文具の総購入金額のうち、エコマーク付き商品などのグリーン購入品の購入金額が占める割合(%)

※2008年度と2011年度に算定範囲を一部変更し、2011年度以降は国内グループ全ての実績を集計しています。



環境法令の遵守、環境監査の実施 環境スローガン、生物多様性保全活動

環境法令の遵守

環境リスクを未然に防止する為に、事業所のISO14001の管理活動を主体とした遵法活動に加え、国内グループにおける環境関連法の遵守状況の把握や改善を目的とした「遵法チェックリスト」や、法改正情報を毎月展開し遵法性の維持・確認を徹底しています。

環境法令に関する有資格者数

(2013年3月末現在、CMK本体従業員)

資格名称	人数
ボイラー技士 (特級・1級・2級)	25
電気主任技術者 (1種・2種・3種)	6
エネルギー管理士	13
エネルギー管理員	2
大気関係公害防止管理者	3
水質関係公害防止管理者	28
騒音関係公害防止管理者	12
振動関係公害防止管理者	13
冷凍保安責任者 (2種)	1
冷凍保安責任者 (3種)	4
危険物取扱者 (甲・乙・丙)	177
防火管理者	24
特別管理産業廃棄物管理責任者	22
廃棄物処理施設技術管理者	4
毒物劇物取扱者	14
衛生管理者	46
乾燥設備作業主任者	113
有機溶剤作業主任者	161
ボイラー取扱技能講習修了者	25
ボイラー取扱作業主任者	14
特定化学物質等作業主任者	153
鉛作業主任者	7
プレス機械作業主任者	30
合 計	897

遵法チェックリストでの調査対象関連法令

調査対象関連法令
1 大気汚染防止法
2 水質汚濁防止法
3 騒音規制法
4 振動規制法
5 悪臭防止法
6 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
7 エネルギーの使用の合理化に関する法律
8 消防法
9 毒物及び劇物取締法
10 浄化槽法
11 高圧ガス保安法
12 工場土地法
13 下水道法
14 工業用水法
15 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
16 地球温暖化対策の推進に関する法律
17 PRTR法
18 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
19 フロン回収破壊法
20 建設リサイクル法
21 土壌汚染対策法

環境監査の実施

CMKグループの環境監査活動

CMKグループでは、環境監査を環境マネジメントシステムに関する「EMS監査」と環境負荷物質の管理に重点を置く「EHS管理監査」の二つに分けています。EHS管理監査員の養成については、社内認定制度を設け、監査員の拡充・監査レベルの維持・向上を図っています。

EMS監査については、ISO14001取得事業所で、内部監査により環境マネジメントシステム及び環境保全活動が効果的に運用されていることを確認しています。

また、外部審査機関による審査も定期的を受審しています。

◆EHS管理監査員の人数

(2013年3月末現在)

国内	53
海外	9
合計	62

◆環境内部監査員の人数

(2013年3月末現在)

国内	241
海外	51
合計	292

環境スローガン

2013年度環境スローガンの策定 (社内公募)

当社では、社員一人ひとりの環境活動における目的意識を高めるために、毎年環境スローガンを定めています。

2013年度スローガンは、1,050件の応募から『スマートな知恵と企業が明日の地球を築く』が選ばれました。



生物多様性保全活動

当社では生物多様性保全を推し進め、「自然共生社会」の構築実現に向けて取り組んでいます。群馬地区では2011年5月に「群馬地区生物多様性推進委員会」を発足させ、当社事業所やサプライチェーンにおける事業活動が生物多様性へ与える影響調査の実施や、社会貢献活動の一環として伊勢崎市の「赤松管理オーナー制度」に参画し、赤松保護活動に取り組んでいます。

埼玉や山梨、新潟地区の事業所でも活動が活発化してきており、今後もグループ全体で生物多様性保全を推進していきます。





情報開示、お客様への対応

情報開示

環境コミュニケーション

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールとして、1999年より環境報告書の発行を開始し、2000年版からは英語版の発行にも取り組むなど、国内のみならず海外への情報開示にも積極的に努めてきました。2007年からは、ステークホルダーの皆様へに当社のCSR活動を知っていただくことを目的として、環境報告書を拡大発展させ、CSR報告書として発行しています。

また、当社ホームページにCSRコーナーを設け、環境への取り組みを中心としたCSR活動に関する情報を掲載しています。



CSR 報告書

お客様への対応

お客様からのグリーン認定企業の取得

RoHS指令などに対応する為に、お客様では、環境負荷物質管理システムの構築・運用状況の確認の為の環境品質監査を実施しています。

当社では、2002年11月よりお客様の認定監査を受審し、グリーン認定企業として生産事業所を中心に認定をいただいています。



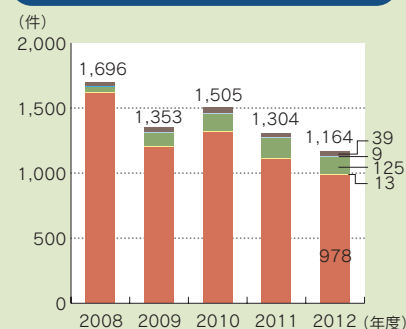
お客様からの認定証

お客様からのお問い合わせ

2012年度にお客様から環境担当窓口である環境推進室に寄せられたお問い合わせやご要望は1,164件となりました。

お問い合わせ内容	2008	2009	2010	2011	2012
環境負荷物質の使用及び含有	1,607	1,196	1,315	1,109	978
ISO14001取得	14	9	6	5	13
グリーン調達	39	103	129	152	125
CSRアンケート	5	5	9	9	9
その他	31	40	46	29	39

お問い合わせ件数の推移



MSDS (製品安全データシート) による情報提供について

PRTR法の施行にともない、当社製品について、MSDSによる情報開示のご要望が多くなっています。当社製品については、PRTR法に定められたMSDSの提供義務の要件に該当しないことから、MSDSの発行をしていません(上記内容については社団法人日本プリント回路工業会より統一見解を出しています)。

ただし、MSDSという情報形態にとらわれず、製品の環境情報については積極的に開示しています。

ライフサイクルアセスメント (LCA) に関するお問い合わせ

当社のお客様については、環境に配慮した製品づくりのために、自社の製造工程や購入部品について、LCA手法による評価を実施しています。

その一環として、当社では製品の製造工程についてLCA手法を導入し、お客様に適切なデータを提供できるよう、対応を図っています。

生産及び研究開発拠点の環境負荷データ

上段：事業所名 下段：生産品目又は事業内容	エネルギー関連		廃棄物関連		資源関連		化学物質処理				水質測定実績						大気測定実績					
	CO ₂ 排出量 t-CO ₂	電気エネルギー 使用量 千kWh	熱エネルギー 使用量 原油換算値	ゼロ エミッション率 %	総発生量 t	水使用量 千m ³	紙使用量 千枚 (A4換算)	揮発性有機 化合物 (VOC) 取引量 t	pH	BOD mg/l	COD mg/l	SS mg/l	n-ヘキサン (鉱油類) mg/l	n-ヘキサン (動植物油類) mg/l	大腸菌群数 個/cm ³	NOx	SOx	ばいじん	NOx	SOx	ばいじん	
Gステイション工場	13,068	23,960	726	100.0%	1,997	1,211	921	10.3	7.9 (6.0-8.4)	22 (35)	3 (30)	1 (4)	1 (4)	<100 (1000)	87ppm (140)	5.5Nm ³ /h (K値8.0)	0.034g/Nm ³ (0.24)	17mg/Nm ³ (60)	スクラバー			
KIBAN センター工場	13,538	27,058	366	100.0%	3,118	892	633	19.0	8.0 (6.6-8.4)	13 (20)	3 (9)	1 (3)	1 (3)	0 (800)	79ppm (120)	1.66Nm ³ /h (K値6.0)	0.12g/Nm ³	塩化水素: 4mg/Nm ³ (50)	スクラバー			
技術センター工場	1,144	2,466	0	100.0%	22	8	198	0.0	7.9 (6.4-8.4)	1 (20)	2 (10)	1 (2.5)	1 (2.5)	30 (1000)	該当なし							
研究開発拠点	50,429	74,307	5,062	100.0%	5,304	3,726	2,076	2.1	7.6 (6~7.8)	8.7 (24.5)	3 (20)	1.6 (4)	1 (4)	1200 (2500)	51ppm (58)	-	<0.01g/m ³ (0.0)					
日本シイエムケイマテリアル(株)	21,415	34,449	1,330	100.0%	5,310	656	1,459	31.3	7.6 (6~8.3)	41 (50)	5 (10)	<2 (3)	<2 (-)	30 (1500)	32cm ³ /m ³ (40)	<0.011 (-)	0.0068g/Nm ³ (0.03)	29cm ³ /m ³ (-)	<0.007 (-)	0.0072g/Nm ³ (0.03)	ガス焼き式小型貫流蒸気ボイラー	
株式会社三光	4,513	8,958	136	100.0%	617	220	398	11.6	6.5 (6.5-8.0)	23 (29.5)	14 (40)	-	-	5 (100)	62ppm (100)	<5ppm (5)	<0.005g/m ³ (0.1)					
多層プリント配線板、片面プリント配線板	5,517	10,538	236	100.0%	5,104	124	1,509	2.3	8.0 (6.0-8.4)	44 (<250)	10 (<250)	-	-	-	該当なし							
シイエムケイ・プロダクツ(株)	489	1,046	1	100.0%	39	1	124	0.0	-	-	-	-	-	-	該当なし							
多層プリント配線板、片面プリント配線板	4,763	8,582	0	19.9%	94	89	158	-	7.7 (5.5-9.0)	30 (50)	117 (200)	42 (100)	-	-	239.7mg/m ³ (260)	140.1mg/m ³ (150)	-					
AMREMISSION FOR SCRUBBER																						
AMBIENT AIR MONITORING																						
旗利得電子(東莞)有限公司	27,529	44,771	1,009	100.0%	3,998	2,139	746	-	7.53 (6-9)	-	16 (30)	1.9 (2)	-	-	235 (400)	355 (500)	-					
多層プリント配線板、片面プリント配線板	22,301	37,356	802	88.4%	3,289	594	909	0.0	7.32 (6-9)	46 (50)	23 (30)	-	-	-	79mg/m ³ (240)	15mg/m ³ (45)	-					
工場排気																						
希門電子(無錫)有限公司	20,572	86,830	1,505	86.2%	3,601	2,654	1,715	3.8	7.1 (5.5-9.0)	88 (≤750)	11 (≤200)	-	-	-	2.4ppm (≤200)	2.8mg/m ³ (≤320)	58.5ppm (≤200)	8.8mg/m ³ (≤320)				
多層プリント配線板、多層プリント配線板																						
CMK CORPORATION (THAILAND) CO., LTD.																						
ビルドアップ配線板、多層プリント配線板、片面プリント配線板																						

・大気・水質測定値は最大値となっています。 ・()内の数値は自主基準値となっています。 ・水質汚濁防止法の有害物質については、測定の結果、基準値以下となっています。